

特集1 アソボ・マナボ・タノシソウブン
特集2 小説×演劇「りすん」対談



8月6日(日曜日)
きょうはそうぶん
に行きました。いっほ
イベントをっていて
おも白かったです。
わたしはコンサートに
行って、手わの人のお店
であそんだあと、きこ
れいなえはがきをつ
くりました。
またあそびに行
きたいです。

イラスト/hibiyuu

特集2 小説×演劇「りすん」

処女作『アサツチの人』で2007年に芥川賞を受賞された諏訪哲史さんの第二作『りすん』。闘病中の少女と、兄妹同然に育った青年の会話を軸に、そのやり取りが隣の患者によって書かれた物語だったとしたら…という革新的な構造のこの小説は、2010年に演劇界の奇才・天野天街さんによって舞台化されました。当時名古屋のみでの上演にもかかわらず、全国から注目を浴びた傑作が、13年ぶりに三重・名古屋・高知の3都市ツアーとして復活します。ともに1960年代生まれ、愛知県を拠点に活動するお二人が、どのように小説を演劇に変換させたのか——再演にあたって、諏訪さん、天野さんにお話を伺いました。



りすん(2010) 撮影:羽鳥直志

- 02 特集1 アソボ・マナボ・タノシソウブン
- 03 特集2 小説×演劇「りすん」
- 04 イベントインフォメーション 7~8月、ワンコインコンサート
- 05 イベントインフォメーション 8~9月、チケット発売日情報

- 06 カルレク! 気軽に楽しむ文化のレクチャー
- 07 Znews 文化交流ゾーンインフォメーション
- 08 主催事業ピックアップ 7~9月 読者プレゼント



アソボ / マナボ /

タノシウブン

サマー プログラム for KID's

夏休みはそうぶんでアソボ・マナボ！
コミュニケーション、アート、かがく、アドベンチャーをテーマにした
楽しいプログラムがゼーンぶ無料で体験できるよ！

イベント詳細、
問合せ先は
こちら！



事前申込不要！

8月6日は
まるっと1日
遊んでっちょ！

タイムスケジュール

「ようこそ！手話の国のお祭りへ」
手話パフォーマンス
こどもオーケストラ教室
弦楽器を体験しよう！
カラフルカード
ビートワークスであそぼう！

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
最終受付 12:30						最終受付 15:30

「ようこそ！手話の国のお祭りへ」事前予約優先

手話の国の文化は「身体で伝え合う」。手話が分からなくても大丈夫。
目と目を合わせて、ジェスチャーや筆談で伝えることにチャレンジしてみよう！
静かな空間で手話の国の住民たちとお喋りしながら、
射的や輪投げなどのミニゲーム、
うちわ・バルーンアートなどのモノ作りが楽しめるスペースです。



10:00～16:00(13:00～14:00お休み)

対象：小学生向け(どなたでもご入りいただけます)

協力：手話マルシェ®

手話はとても面白く奥が深い言語です。
ですが耳が聞こえない人と話す方法は手話だけではありません。
筆談やジェスチャーでも意外と通じるし、通じた時はお互い嬉しくなります！
海外旅行へ行って現地の人と話す時のように、手話の国でも
いろんな方法を試してみてくださいね。

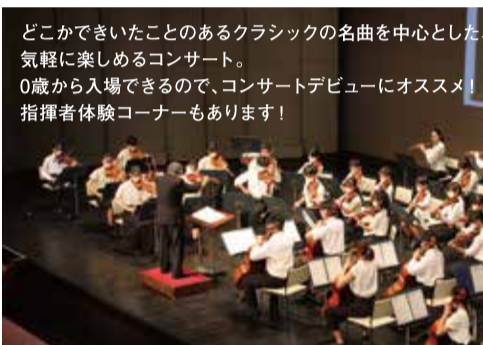
手話マルシェ® 代表 森本友里子



三重ジュニア管弦楽団
こどもオーケストラ教室

11:00開演

対象：どなたでも



どこかで聞いたことのあるクラシックの名曲を中心とした、
気軽に楽しめるコンサート。
0歳から入場できるので、コンサートデビューにオススメです！
指揮者体験コーナーもあります！

三重ジュニア管弦楽団
弦楽器を体験しよう！

オーケストラで美しいメロディーを奏でる
「ヴァイオリン」と、低く温かい音を奏でる
「チェロ」を体験してみませんか？



14:00～16:00 対象：5歳以上



ザ・オイオイズの
手話パフォーマンス

手話×エンターテイメントで手話をもっと身近に！
「きこえる人」と「きこえない人」が一緒になって、
大人から子どもまで「楽しく」学べる手話パフォーマンス。

10:15 13:30 対象：どなたでも

「手話ってムズかしらう…」って思ってる人にこそピッタリ！
手話がわからなくてもダイジョーブ！！
オイオイズと一緒に手も顔も身体も動かしてとことん楽しもう！
家に帰ってからも使えるし、誰かに教えたいくなる手話を
準備してるので遊びに来てね！

ザ・オイオイズ 石田竜士(りゅうじ)



水彩絵の具でつくろう！
カラフルカード

水彩絵の具を使って、
色がまざったり、にじんだりする
様子を楽しみながら、
カラフルカードを作りましょう！
絵の具で「あそぶ」体験です。



10:00～16:00(13:00～14:00お休み) 対象：5歳～小学生

～絵をかくと音がでる～
ビートワークスであそぼう！

線をかくと音が出る
ふしぎなキャンパスで遊びましょう！
そーとかいた時、強くかいた時は
どんな音がするだろう？
音のちがいを楽しみながら、
自由にキャンパスにかいてみてね。



11:00～16:00(13:00～14:00お休み) 対象：3歳～小学生



絵かきのコぼっぐ

「絵かきのコぼっぐ」は津市在住の絵本作家・つつみあいさんと
三重県総合文化センターが共同企画した、子どもたちが自由に絵を描くためのぼっぐです。
そうぶんの好きな場所で自由に絵を描いてね！

10:00～16:00 保証金：1,000円(ぼっぐ返却時にご返金します)



じっくり取り組めるプログラムもあるよ！ 事前申込制 上にあるQRコードから申し込んでちょ！



まるでスクラッチ！
～コーヒーかすがアートに変身～

コーヒーかすを使ってスクラッチアートを描いてみよう！
デカフェ(カフェインレス)コーヒーも飲めるよ。

①10:00 ②13:30 対象：5歳～小学生

申込締切：7月2日(日) / 抽選



JAL折り紙ヒコーキ教室

一枚の紙でつくる「折り紙ヒコーキ」。
飛行機が空を飛ぶ仕組みを学びながら、
よく飛ぶ折り紙ヒコーキのヒミツを
JALの指導員に教えてもらいましょう。

①11:00 ②13:30 対象：①1～3年生 ②4～6年生



申込締切：7月2日(日) / 抽選



科学工作教室

見たものが実際とはちがって見えてしまうことを
「目の錯覚」といいます。
この錯覚を利用した工作にチャレンジしてみましょう！

14:30 対象：小学生 申込締切：7月2日(日) / 抽選



「ちがいに」OK!
ドラッグクイーン・ストーリー・アワー

「ドラッグクイーン」とは
派手なメイクやドレスなどを身にまとい、
男女の線引きを飛び越えて
パフォーマンスをする人たちのこと。
ドラッグクイーンの絵本の読み聞かせや
ハグたいそうをしながら、一緒に遊ぼう！



①11:00 ②14:00 対象：①3～5歳 ②6～8歳

申込締切：7月17日(月・祝) / 抽選

図書館探検ツアー

図書館の裏側を探検しながらクイズに挑戦！
参加してくれた子には
缶バッジと修了証を
プレゼントするよ。



対象：小学生

①11:00 ②13:10 ③14:10

申込締切：7月17日(月・祝) / 抽選



ピアノ解体ショー

誰もが知っている楽器「ピアノ」。
その中身がどうなっているか、
どうやって
音が出るか、
その謎を
のぞいて
みませんか？



①10:30 ②13:30 対象：小学生

申込締切：7月30日(日) / 抽選



かみみ～といっしょ♪
光るいきもの なぞだらけ

どうしていきものが光るの？
光るいきものスペシャリストが、
その不思議を科学的に解き明かします。
発光実験ができる乾燥ウミホタルの
プレゼントもあります！



13:30 対象：どなたでも

先着順：定員になり次第受付終了
6月10日(土)受付開始

いつでも楽しめる♪「どくしょビンゴ」と「かるミッション」に挑戦してちょ！



どくしょビンゴ!

ビンゴカードに書かれている本を読んで、マスをうめよう。
タテ・ヨコ・ナメのどれかがつながったらビンゴ!
ビンゴになった人にはプレゼントがあるよ!

対象：小学生まで

かるミッション

かみみと一緒にクイズやミッションをクリアして、
ヒビユウさんイラストのオリジナル缶バッジをもらおう!

対象：小学生まで

※プレゼント交換場所：総合案内所



クリアした人には
プレゼントが
あるちょ!



※休館日を除く毎日
(休館日はP8をご確認ください)



りすん (2010) 撮影・羽鳥直志

小説×演劇「りすん」

「りすん」(2008年/講談社)

F/ス 116060534

小説そのものの作為性に果敢に斬り込んだ、芥川賞受賞作「アサッテの人」と対をなす実験的作品。三重県立図書館で借りることができます。舞台との違いを探すのも面白いかもしれません。8月1日～9月18日まで、関連展示も開催予定!



芥川賞作家と演劇界の奇才が挑む、摩訶不思議な舞台

諏訪さんは同作を舞台化(演劇に変換)することをどのように感じていらっしゃいますか? また天野さんは小説を舞台化するにあたり、どのように取り組まれましたか?

諏訪 僕の考えでは小説を書くということは、それまで連綿と描かれてきた小説の歴史を、批評することになるということ。新作を書くときは、常に小説に対する批評小説を書こうというポリシーを持っています。それを演劇で、特に僕がファンで見ていた天野さんがなさるといことで、諸手を挙げて賛成しました。というのは、演劇もそれまでの演劇を批評するために、新作演劇が作られているはずだと感じていたから。そういった意味で、僕と天野さんが共闘することで、小説・演劇に対して、それぞれ批評の札を突き付けることができるぞと。僕自身は小説でそれを行ってききましたが、演劇にすることで、より鋭利に激しく批評を立ち上げることができると思いました。ですから面白い半分、天野さんがこれをやる怖さもあり、期待もありましたね。

天野 小説と演劇、あきらかに違いますよね。そこにおいて小説でしかできないことを考えたときに、「りすん」という小説を軽く読んでしまうと安易に演劇化しやすいと勘違いしてしまう人もいます。なぜなら地の文がない(台詞のみで進行する演劇と同じ)から。ところがどっこい、深さが全く違うんですよ。「りすん」では、音声やビジュアルにかかわること、つまり視覚や、かすかな匂い・気配といったことは、実は小説でありながら、すべて会話の中で伝わるよう書かれているのです。演劇では、書かれた音声やビジュアルは、そのまま説明的に舞台上に表現できてしまいます。そこが落とし穴だと思って創作していました。演劇にするのであれば、表現するのはそこではない。ヒリヒリした感覚を持ちながら作っていましたね。

諏訪 小説は白紙と文字、白色と黒色だけで表現しますよね。あとは紙を指で触ることができる。めくると前のページは見えなくなって、次のページしか見えなくなる。だから情報量を極限まで少なくできます。白黒の世界で、文字しかない、余計なものを見せないようにすることもできるのです。それは映画のような五感をフルに使える芸術からすると、情報の乏しい世界な

諏訪哲史×天野天街



んですよ。だからこそ乏しさを逆に利用して、読者の余白をいくらでも膨らませてもらうことができる。貧乏な奴が一番豊かだ、というやり方です。一方で見せようとしてしまうのが演劇の世界です。それは演劇の弱点にもなりうる。小説を映画化した時もそうだけれど、視覚の自由度を限定することになるのです。この問題は、演出される方にとっては難しい点ですが、天野さんは普通に「=(イコール)」でやってくるはずはない、どこかで変換があるだろう。もしかしたら「≒(ニアイコール)」かもしれないと思っていました。映像のように、作られてあとは上映ということではなく、一回一回が生ものの演劇はそこに面白さが必ず出てくるはずだと思っていましたし、実際に初演を見て非常に面白かった。

天野 とはいえ、演劇は映像よりは自由だけれど、時間をジャックして勝手に支配してしまっていますよね。見る人はその時間に乗せられて劇世界へと連れていかれます。一方で、小説は読む人の自由ですからね。途中で止めてもいいし、読み飛ばしてしまってもいい。演劇化したときに、せつかくあった想像力を喚起する諸々をそぐことだけはやりたくないと思っています。

実は5年以上前から肅々と構想が練られていた今回の企画。13年ぶりの再演の話聞いた時の感想はいかがでしたか?

諏訪 僕は見せてもらうという呑気な立場でしたの

で、ともかく嬉しかったのですが、天野さんは大変だったと思います(笑)。

天野 久々の再演だから新しいものを見つけなきゃと頑張るのではなく、シンプルにやっていきたいですね。諏訪さんと一緒にやった小説を演劇に転換するという作業自体がとても面白いものだったので、その面白さをそのまま出したいと思っています。

今回は兄・妹・彼らの祖母のみで劇世界を作り上げること。どのような構想をお持ちでしょうか?

天野 元々この作品は、2008年の小説出版後すぐ2010年に舞台化していて、初演のきっかけは寂光根隅的父(じゃこうねずみのぼぼ)さんが「りすん」を題材として推して下さり、名古屋を代表する劇場「七ツ寺共同スタジオ」の二村利之さん(2022年ニッセイ・バックステージ賞受賞)の声掛けで企画が動き始めました。あいちトリエンナーレの市民参加企画でしたのでアンサンブルが出演していましたが、実は今回のほうが原作に近いのです。再演にあたっては、そぎ落として、変にコーティングしなくてもいいかなと思っています。

諏訪 ただ、僕は初演を見たときに、あのアイデア(アンサンブルの俳優が出演)には驚きました。アンサンブルの俳優が客席にいて、舞台の周りを取り囲み、最後立ち上がって舞台上に登場する。聴衆、つまりlistenしている読者が登場してしまうというのは素晴らしいと思いましたね。

最後に、ツアーに向けて一言メッセージをお願いします。

諏訪 高知は一人旅で行ったことがあります。楽しかったな。三重にも何度も通いました。「りすん」は海の街が出てくる小説ですが、高知も三重も海がありますね。原作のモデルは、愛知県の伊良湖岬。バブル期に建てられたホテルの風景や、イーグルスの曲「ホテル・カリフォルニア」(1977年発売)のCDジャケットのイメージも取り入れています。

天野 あのシーン(兄と妹が幼少期に訪れた海辺のホテルのシーン)は、情景描写が秀逸ですよね。ぜひ沢山の方にご覧いただきたいです。



脚色・演出 天野天街 あまのてんがい
劇作家、演出家、少年王者館主宰。1960年愛知県一宮市生まれ。1982年少年王者館旗揚げ、名古屋を拠点として全国的に活躍。演劇、ダンス、人形劇、コンサート、ファッションショー等幅広いジャンルの舞台演出を多数手がける傍ら、漫画執筆、デザイン・ワーク、エッセイ等の分野でも活躍。1998年より演劇ユニット「KUDAN Project」を始動、海外公演を開始する。主な演出作品に『御姉妹』『高丘親王航海記』『百人芝居◎真夜中の弥次さん喜多さん』、映画作品に『トワイライツ』がある。



原作 諏訪哲史 すわてつし
小説家。1969年名古屋生まれ。名古屋西高校、國學院大學文学部哲学科卒業。独文学者種村季弘に師事。2007年に小説『アサッテの人』で群像新文学賞・芥川賞を受賞。他に小説『りすん』『ロンバルディア遠景』『領土』『岩塩の女王』、エッセー集に『スワ氏文集(もんじゅう)』『うたかたの日々』『スットン経』、文学批評集に『偏愛蔵書室』『紋章と時間』がある。東海学園大学文学部客員教授。2022年から名古屋駅の名鉄カルチャースクールで毎月第3土曜日に文学講座(常時入会可)を開講中。

貴重な手書き戯曲やイラスト

天野天街さんの戯曲はなんと全て手書き!横線ノート(横罫)を縦に使い、稽古場での修正が次々と書き込まれて手書きならではの臨場感が。遊び心を随所に詰め込んだ天野ワールドの魅力が、戯曲からも垣間見えます。

セリフについている○は、同時に読むという天野さん独自のマーク。劇中で使用する映像のイメージも書き込まれます。



チラシイラストは天野さん直筆!

今回はオーディションを行い、兄・妹役を決定しました。選ばれたのは、東海地域で活躍する二人。更に少年王者館の宮璃アリスさんも加わり、オール東海で挑むクリエイションツアーに期待が高まります。



菅翔翔也



加藤玲那



宮璃アリス

9/17[日]・18[月・祝] 小ホール 17日13:00の回のみ

地域公共劇場連携事業「りすん」クリエイションツアー

【17日】13:00開演/18:00開演 【18日】14:00開演 整理番号付自由席 一般3,000円、22歳以下2,500円

園三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

7月15日(土)チケット発売

※三重公演ののち、名古屋・高知を巡演予定

天野天街さんの創作過程を体験したい方は、ワークショップもオススメです!

*詳細・申込方法は、三重県文化会館HPをご覧ください。



7月

1・2 [土]・[日]	ハイバイ「再生」 [1日]17:00開演(16:30開場) [2日]14:00開演(13:30開場) 整理番号付自由席 一般 3,000円、22歳以下 1,500円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	日曜のみ 主催	小 ホール
2 [日]	みえアカデミックセミナー2023オープニング 谷本道哉講演会「人生110年時代を実現する裏切らない体づくり」 13:30開演(12:45開場) 入場無料・全席自由 ※事前申込制(受付終了) ※当日受付はありません 三重県生涯学習センター 059-233-1151	復 主催	大 ホール
5 [水]	オンステージコンサート vol.6 ピアノ 尾城杏奈 14:00開演(13:30開場) 全席自由 2,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催	大 ホール 舞台上
8 [土]	ウクライナ国立民族舞踊団 スピリット・オブ・ウクライナ 15:00開演(14:30開場) 全席指定 S席8,000円、A席7,500円(前売・当日とも) ※未就学児入場不可 MIN-ON中部センター 052-951-5391	主催	大 ホール
9 [日]	愛知県立芸術大学管弦楽団 三重特別演奏会 16:00開演(15:00開場) 全席指定 1,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	復 主催	大 ホール
9 [日]	音物語「世界一明るい暗闇」 15:00開演(14:30開場) 全席自由 3,900円(前売・当日とも) みんなが笑顔で暮らせるコミュニティ 090-3254-1796(濱地)	主催	小 ホール
9 [日]	サンデーダンスパーティ 12:30~16:00 参加費 1,000円 サンデーダンスサークル 090-3425-0353(水谷)	主催	2 ギャラリー
13 [木]	KAZUYOSHI SAITO LIVE TOUR 2023 “PINEAPPLE EXPRESS”~明日大好きなロックンロールバンドがこの街にやってくるんだ~ 18:30開演(17:30開場) 全席指定 7,700円 JELLY HOUSE 052-936-6041	復 主催	大 ホール
14 [金]	ジュジュ苑スペシャル「スナックJUJU 2023」 ~47都道府県出店!!“あのみ”がJUJU20周年を勝手に前祝い全国ツアー~ 18:30開演(17:30開場) 全席指定 8,888円 サンデーフォークプロモーション 052-320-9100	復 主催	大 ホール
15~17 [土]~[月・祝]	第21回 三重県文化賞(文化功労賞)受賞記念 “佐々木洗舟の歩み、美しいかな書展” 9:30~17:00(最終日は9:30~16:00) 入場無料 佐々木洗舟(文子)書道教室 059-223-1080,080-6968-2006(佐々木)	主催	1B ギャラリー
16 [日]	トリニティ・アイリッシュ・ダンス 15:00開演(14:30開場) 全席指定 S席 7,000円、A席 6,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	U30割 復 主催	大 ホール
17 [月・祝]	おしゃべり古典サロン vol.11 「仮名手本忠臣蔵」五段目~六段目 14:00開演(13:30開場) 全席自由 1,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	主催	多目的 ホール
19 [水]	細川たかしー門ビッグコンサート 18:00開演(17:30開場) 全席指定 プレミアムチケット席8,000円、SS席6,800円(前売・当日とも) 夢グループ 0570-666-443	復 主催	大 ホール
22 [土]	フレンテみえ男性講座 パートナーときく“更年期”~CHANGE of LIFEのススメ~ 13:30開演(12:45開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 059-233-1130	主催	多目的 ホール
22 [土]	三重県農林漁業就業・就職フェア2023 13:00~15:30 入場無料 公財)三重県農林水産支援センター 0598-48-1226(総務・担い手支援課)	主催	1 ギャラリー
23 [日]	三重県文化会館セレクションシリーズvol.14 ワーヘリ 外園祥一郎(ユーフォニアム)&次田心平(チューバ)&松本望(ピアノ) 14:00開演(13:30開場) 全席指定 2,000円 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	U30割 復 主催	大 ホール
23 [日]	ベストボディ・ジャパン2023 津大会 / モデルジャパン2023 津大会 12:30開演(12:00開場) 全席指定 VIP席10,500円(当日12,000円)、S席8,500円(当日10,000円)、 A席7,500円(当日9,000円)、B席6,500円(当日8,000円)、C席5,500円(当日7,000円) ㈱ベストボディ・ジャパン協会 03-6717-2784	主催	中 ホール

23 [日]	サマーコンサート2023 ピアノ・エレクトーン発表会 [1回目]12:00開演(11:45開場)予定 [2回目]15:00開演(14:45開場)予定 入場無料 090-9129-8971(伊崎)	主催	多目的 ホール
26 [水]	ワンコインコンサートvol.131 南米ペルー / ラテンfolklore ワイクス 11:30開演(10:45開場) 全席自由 500円 ※チケットレス 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122	復 主催	大 ホール
26 [水]	第372回例会 文学座公演「昭和虞美人草」 18:30開演(18:00開場) 会員制 津演劇鑑賞会 059-228-9523(中島)	復 主催	中 ホール
29 [土]	アソボ・マナボ・タノシソウブン JAL折り紙ヒコーキ教室 [1回目]11:00 [2回目]13:30 参加無料 ※事前申込・抽選制 小学生対象 三重県総合文化センター総務部 059-233-1105	主催	1 ギャラリー
29 [土]	アソボ・マナボ・タノシソウブン まるでスクラッチ!~コーヒーかすがアートに变身~ [1回目]10:00 [2回目]13:30 参加無料 ※事前申込・抽選制 5歳~小学生対象 三重県総合文化センター施設利用サービスセンター 059-233-1114	主催	2 ギャラリー
30 [日]	まなびいすとセミナー 楽楽シリーズ 楽楽歌舞伎塾 ~歌舞伎の楽しみ方~ 14:00開演(13:30開場) 全席自由 1,000円 ※事前申込制・先着順 三重県生涯学習センター 059-233-1151	主催	多目的 ホール

8月

1 [火]	三重県子ども心身発達医療センター 令和5年度「ここ・から」研修会 ~地域支援から、地域との連携へ~ 10:00開演(9:40開場) 入場無料 ※事前申込制・先着順 三重県子ども心身発達医療センター 059-253-2000(医療連携課)	主催	中 ホール
2 [水]	世界迷作劇場2023~24 [1回目]13:00開演(12:15開場) [2回目]16:00開演(15:15開場) 全席指定 SS席5,000円、S席3,800円(前売・当日とも) アークインテナーショナル 0798-34-5377(平日13:00~18:00)	復 主催	大 ホール
5 [土]	アソボ・マナボ・タノシソウブン 「ちがひ」にOK!ドラッグクイーン・ストーリー・アワー [1回目]11:00開演 [2回目]14:00開演 入場無料 ※事前申込・抽選制 対象:3~8歳の子ども 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 059-233-1130	主催	多目的 ホール
6 [日]	アソボ・マナボ・タノシソウブン 三重ジュニア管弦楽団 こどもオーケストラ教室 11:00開演(10:30開場) 入場無料 ※当日先着順受付 三重県文化会館 059-233-1112	主催	中 ホール
6 [日]	アソボ・マナボ・タノシソウブン 「ようこそ!手話の国のお祭りへ」 10:00~16:00 入場無料 ※事前予約優先 三重県総合文化センター施設利用サービスセンター 059-233-1118 soumu@center-mie.or.jp	主催	1 ギャラリー
6 [日]	アソボ・マナボ・タノシソウブン ザ・オイオイズの手話パフォーマンス [1回目]10:15 [2回目]13:30 入場無料 ※当日先着順受付 三重県文化会館 059-233-1112 soumu@center-mie.or.jp	主催	2 ギャラリー
11 [金・祝]	F-STYLE DANCE FORWARD Vol.13 スタジオエフスタイル ダンス発表会 14:00開演(13:30開場) 全席指定 1,000円(前売券のみ) スタジオエフスタイル 059-228-4811	主催	中 ホール
11~13 [金・祝]~[日]	第71回 三重県書道連盟会員・公募展 9:30~16:30(最終日は9:30~15:00) 入場無料 三重県書道連盟 090-5614-3110(西村)	主催	1・2 ギャラリー
13 [日]	三重大学管弦楽団OBオーケストラ 第5回演奏会 シベリウスの2番とベートーヴェンの「英雄」を 14:00開演(13:15開場) 全席自由 2,000円(前売・当日とも) 三重大学管弦楽団OB会 059-230-2133	主催	大 ホール
16 [水]	アソボ・マナボ・タノシソウブン ピアノ解体ショー [1回目]10:30 [2回目]13:30 参加無料 ※事前申込・抽選制 小学生対象 三重県総合文化センター施設利用サービスセンター 059-233-1118	主催	中 ホール

主催 三重県総合文化センター主催事業 U30割 30歳以下は当日年齢証明提示で割引 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。 終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 ※往路バスの運行は終了しました。
 託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3か月から就学前まで) 公演2週間前までにお申し込み下さい。 そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105
 クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。) 問…問い合わせ先 英字プログラム有 点字プログラム有 手話通訳有
 ※赤外線補聴システムをご利用いただける催しもございます。詳細は施設利用サービスセンターまでお問い合わせください。(フリーダイヤル0120-319-489)
 掲載している催し物は5月30日時点の内容です。諸般の事情により、掲載している催しに変更(中止・延期)になる場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

三重県総合文化センター イベント 検索

「ランチタイム」に「1時間」で「500円」の
カジュアルコンサートシリーズ

ワンコイン コンサート

全席自由 500円 チケットレス 復

大ホール 10:45開場 11:30開演(12:30終演予定)

日本とアンデスをつなぐ
魂の兄弟デュオ

vol.131
7月26日(水)

南米ペルー
ラテンfolklore
ワイクス



インドアナポリス国際
ヴァイオリン・コンクール3位入賞!

vol.132
8月23日(水)

ヴァイオリン
MINAMI



ドイツと日本で活躍する
気鋭のフルーティスト

vol.133
9月13日(水)

フルート
八木瑛子





物の輸送だけでなく、お客様のニーズも運ぶ
物流のスペシャリストとして挑戦し続けます。



株式会社 日硝ハイウエー
津市戸木町4857-13 TEL.059-254-5900

そうぶんの
たなばた

7/7まで

みんなのねがいかなうといいね!



Table of events for the first column, including dates, titles, and venue information.

Table of events for the second column, including dates, titles, and venue information.

主催 三重県総合文化センター主催事業 U30割引 30歳以下は当日年齢証明提示で割引... 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。

チケット発売日情報

ご予約・お問い合わせ

WEBチケット購入エムズネット 24時間受付 https://p-ticket.jp/center-mie/



三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122(営業時間 10:00~17:00)

9/17[日]・18[月・祝] 小ホール 地域公共劇場連携事業「りすん」クリエイションツアー

9/23[土・祝] 中ホール 黒田卓也カルテット with TSUKAMOTO SISTERS

10/1[日] 大ホール U30割引 飯森範親指揮 日本センチュリー交響楽団

10/7[土]・8[日] 小ホール 第七劇場「三人姉妹」

10/28[土]・29[日] 小ホール 下鴨車窓「旅行者」

11/4[土] 小ホール U30割引 グランプリコンサート2023

11/22[水] 大ホール舞台上 オンステージコンサート vol.7

12/1[金] 大ホール U30割引 三重県文化会館セレクションシリーズ vol.15

お得にチケットを買うなら 会員制度の詳細については、ホームページ等をご覧ください

掲載している催し物は5月30日時点の内容です。諸般の事情により、掲載している催しに変更(中止・延期)になる場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

TOSHIBA フルカラー LED ボーダーライト

環境と人にやさしい 印刷製品を 伊藤印刷株式会社

おいしさ直行便! 全国発送を承ります 朝日屋



出版社に勤務後、フリーランスの編集者・ライターとなる。新聞や雑誌、書籍の企画・編集・取材・執筆の他、演劇や映画などのパンフレット編集も数多く手掛ける。「尾上さら」の筆名で関連媒体への寄稿も行う。現在、新国立劇場演劇公演パンフレットに「日本の劇場」を連載中。文化施設から劇集団、表現者などの別なく国内各地に足を運び、幅広く取材・執筆を行っている。

©五島真澄(PUYEY)

大堀久美子 編集者、ライター

Kumiko Ohori

Performing arts vol.1 新連載

いのち 脱げばみな同じ生命・ 妙一ジカルでメメント・モリを体験する

皆様！2022年10月末に発表され、YouTubeで絶賛公開中の「MieMuのテーマ」を視聴されたでしょうか？公募で集まった三重の子どもたちが、イキイキのびのび歌い踊る動画は5分ほど。ぴかぴかの展示からディープな裏側までMieMu=三重県総合博物館の魅力を子どもたち自身で掘り起こし、三重の自然や生き物、名物まで織り込んだ、あたたかくユーモラスな歌詞がまず秀逸で、それを自由過ぎる歌唱とダンスがさらに盛り上げる。そんな、聴いているこちらまで楽しさにムズムズし、思わず知らず身体が揺れたり、歌の一節が頭の中でループする快作を、子どもたちと共につくり上げたのがFUKAIPRODUCE羽衣のメンバーだ。

人間の営みを宇宙スケールの高みから俯瞰して切り取り、愛憎や性愛、孤独や老い、生死の巡りにいたるまで、哲学と呼びたいくらいの深い思索を、ユーモア&ペースをたっぷりまぶした歌と踊りで表現するのが羽衣の劇世界。作・演出・音楽を手掛ける糸井幸之介は、人間の不器用さと矮小さを菩薩のごとき慈愛の眼差しで見つめ、そこから物語と歌を紡ぎ上げる。唯一無二の創作を“妙一ジカル”(「奇妙」と「妙なる(えも言われず素晴らしい様)」のダブルミーニングとのこと)と称し、主宰で俳優の深井順子率いる飛び切り熱量の高い俳優たちにより演じられてきた。

そんな羽衣が、劇団10周年の2014年に創作・上演した『女装、男装、冬支度』を引っ提げ、久々に三重公演を行う。「MieMuのテーマ」が羽衣の童心と純粋さを凝縮した創作とするなら、『女装、男装、冬支度』は、かなりのアダルト仕様。老夫婦、小学6年生男女にバイクを駆るバカップル、ピンサロ嬢と客、父娘のような不倫カップルなど6組の男女がそれぞれエロスとタナトス(死への衝動)に絡まりながら、時に睦みむさぼり合い、時に反目し傷つけ合う様が描かれる、羽衣節炸裂の特濃作品だ。

凍てつく冬の墓地から始まる本作が、9年を経て再創造される今回。初演時は1~2月のリアル冬公演だったが、今回の東京、三重二都市公演は7、8月という。真夏の冬支度？だが筆を進めるうち、これほどパラドキシカルな仕掛けが似合う作品はないと思えてきた。

そもそも今作には、「女装する女と男装する男が愛の冬支度」という短いコピーがつけられている。本来、自分とは異なる性別の装いをするを「女装」「男装」と言うが、コピーから想起されるのは「服装や髪型、メイク、所属や肩書まで人の表面を覆うものは全てかりそめ」ということ。生きている間だけの借り着は交換可能。全てを脱ぎ捨て生身と生身、心と心がぶつかり合う瞬間にこそ生(性)の喜びはあり、その喜びの火が燃え尽きた後には、誰にも等しく冬(死)が訪れるのだ、と。

全編の瞬間瞬間、俳優たちが全力で歌い踊りながら燃やす生命の火は真夏の日差しより眩しく、だからこそ終幕の静寂は永遠の眠りを誘う。そんな羽衣流のメメント・モリ(いつか訪れる死を想え)に身を委ねたら、生命の、本当の姿が見えてくるかも知れない。

8/19[土]・20[日] 小ホール 日曜のみ

FUKAIPRODUCE羽衣「女装、男装、冬支度」

両日とも15:00開演(14:30開場)
整理番号付自由席 一般3,000円、22歳以下1,500円
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

YouTube [MieMuのテーマ](#) で検索!



撮影:金子愛帆

カミナリ

気軽に楽しむ文化のレクチャー

1977年生。武蔵野市民文化会館のクラシック音楽担当を約10年務め、独特な企画やチランを量産した。MCS ヤング・アーティストズで3年勤務したのち2022年8月オフィス山根を設立。これまで200組を超える海外アーティストを招聘し1000公演以上のコンサート企画実施に関わる。著書に『歴代作曲家ギャラ比べ』『歴代作曲家ギャラ比べ2~名曲誕生の裏事情』(Gakken)。全国で講座も開催。世界の音楽ニュースをゆるく解説するブログは基本的に毎日更新。
<https://officeyamane.net/>



山根悟郎 コンサートプロデューサー&文筆業

Goro Yamane

Music vol.4

音楽が凄すぎて失敗に終わった 「白鳥の湖」初演

チャイコフスキーの最高傑作の一つ「白鳥の湖」は、古今東西のバレエの中でも最も人気の高い作品の一つであり、日本でも高い人気を誇っています。

幻想的な雰囲気にもまれたこの作品、テレビや映画などで一部を耳にすることもたびたびあります。一度聞いたら忘れられない音楽の数々はまさしくチャイコフスキーにしか書けなかったもので、聴いているうち思わず立ち上がって「傑作だっ!!」と絶叫したくなる気持ちに駆られます。

ところがこの作品、1877年のモスクワでの初演は失敗に終わったと言われています。なぜか、簡単に言うと“音楽が凄すぎたから”です。どういうことでしょうか。それまでバレエというと、ダンサーの名人芸の誇示といった面に重きが置かれ、音楽は二の次にされがちでした。ところがチャイコフスキーのこの作品は音楽面が充実し高度にドラマティックな内容を持っていたのです。それに面食らって聴衆たちもダンサー達もついていけなかったのではないか、というようなことが言われています。

白鳥の湖に限らずチャイコフスキーのバレエ作品はオーケストラだけで、つまり音楽作品としても演奏や録音される機会があります。これは音楽だけを聴いても全く遜色ないというか、音楽だけでも十分楽しめるからなのです。バレエとして観れば、絶妙な音楽に加えて美しい踊りで視覚も満足。これはつまり「1粒で2度おいしい」という(関西人的に表現するなら)なんともお得な作品、ということになります。

不思議だなと思うのですが、これに限らずチャイコフスキーは書いた作品が最初は理解されなかったケースがいくつかあります。有名な例ですとピアノ協奏曲第1番、あるいはヴァイオリン協奏曲といった傑作も、関係者からめちやくちやくにこき下ろされた逸話が残っています。傑作を傑作として認知することの難しさも感じますが、今や「白鳥の湖」も人類史に残る傑作として幅広く知られているわけですから、初めてという方もどうか安心して優雅な世界にどっぷり浸って頂きたいと思います。

最後になりますが、ウクライナとロシアの戦争は終わりがいつまでも見えません。ウクライナの方々にとってロシア人作曲家であるチャイコフスキーの作品を上演することは心理的な障壁となることがあると言われます。今回上演を決定したカンパニー、そして関係者全ての方々に感謝そして敬意を頂きつつ、噛みしめて愉しんで頂きたいと思います。



8/26[土] 大ホール 復

キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」

14:00開演(13:30開場) 全席指定 一般4,000円、中学生以下2,000円
三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

<http://www.iwama-z.co.jp>

大切な緑のこどもをお任せ下さい

造園・土木・エクステリア・舗装設計・施工・維持管理・解析測量

岩間造園株式会社

本社 名古屋市瑞穂区中山町6-3-2 TEL(052)851-7161 E-mail:info@iwama-z.co.jp
三重支店 三重県津市雲出本郷町字川端838 TEL(059)234-0715 FAX(059)234-0716 E-mail:mie@iwama-z.co.jp

日光天然のかき氷

四代目徳次郎

RIZ CAFE TEL. 059-236-2882
リズ カフェ
三重県総合文化センター1F
RIZ CAFE(レストラン)11:00~19:00

radio³
レディオキューブ♥FM三重
三重エフエム放送株式会社
〒514-8505 津市観音寺町1043-1 TEL059-225-5533
fmmie.jp

放送大学 三重学習センター

《10月入学生募集》

第1回募集 令和5年6月10日(土) ~ 令和5年8月31日(木)
第2回募集 令和5年9月1日(金) ~ 令和5年9月12日(火)

放送大学は、放送、オンライン、面接という3つの授業スタイルを提供する通信制大学・大学院です。
・1科目(2単位) 11,000円(教材費含む)から。
・入学試験はありません。(大学院全科目を除く)
・キャリアアップ(教員・看護師)や資格取得、生涯学習など目的に応じた学び方ができます。

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234
三重県総合文化センター4F
TEL:059-233-1170 FAX:059-233-1179
放送大学三重学習センター

景観創造企業

MIYAMURA

新築からリフォームまで

確かな技術と最新の設備で建設資材の情報ステーション!

本社 津市河芸町東千里1019-2 TEL059-245-1515
四日市支店 四日市市新正16-14 TEL059-354-5445
流通センター 津市河芸町東千里1230-1 TEL059-245-8051
名古屋事務所 名古屋市中区栄1丁目12-35 TEL052-231-1505
<http://www.kk-miyamura.jp>

金属加工からFA事業まで

DAISOグループは新たな「モノづくり」を提案します

DAISO ホールディングス株式会社
東海精機
SKコーポレーション株式会社
サイアム タイソウ インダストリーズ株式会社
SIAM DASSO INDUSTRIES CO., LTD.

DAISO **ダイソウ工業株式会社**



※最新の情報は各館のウェブサイトをご覧ください。

三重県立美術館 津市大谷町11 TEL059-227-2100 FAX059-223-0570 開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ホームページ:https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/



伊賀が生んだ、陶磁器デザインの先駆者

この夏、三重県立美術館では陶磁器デザインの先駆者・日根野作三(1907-1984年)の回顧展を開催します。現在の三重県伊賀に生まれた日根野作三は、現在の上野高校を卒業後、東京高等工芸学校へ進学。陶磁器デザインを学び、愛知県つばきの山茶窯、京都の国立陶磁器試験所でデザイナーとしての歩みを始めました。戦後はフリーのデザイナーとなって愛知、岐阜、三重、滋賀の企業や研究機関を巡り、陶磁器デザイン画を描いて生計を立てつつ、デザイン教育に大きな功績を残したことで知られます。

日根野が特に力を入れたのは、人々の生活に密着した陶

磁器の世界でした。若いころから量産の陶磁器の世界に携わってきた日根野は、多くの人のための、美しく使いやすい陶磁器を作ることが自らの使命だと考えました。同じ時代には、美術展覧会を舞台に美術家として名声を得ることをめざした陶芸家も多くいましたが、日根野は積極的に人々の生活のための陶磁器にやりがいを見出したのです。自らの名声を追うのではなく、多くの人のために活動したいという熱意は、後年には若い作家の教育や陶磁器業界の発展への活動につながります。現在のみえ県展や多治見市陶磁器意匠研究所の立ち上げ、伊賀市への伊奈製陶(現在のLIXIL)

工場の誘致にも積極的に携わりました。

一方で、ものづくりの機械化や量産化が進んでいく戦後の時代において、日根野は「今のデザインはあまりにも多方面に気を配りすぎて、結局最大公約数的なものに終る。したがってどれをみても皆同じである。」と同時代のデザインに物足りなさを感じていました。日根野は作り手が得意とする技術や個性、地域それぞれに異なる陶磁器の特長を生かした、より人間味あるデザインを提唱しています。自らもフランスの画家・ピカソやマティスに大きな刺激を受けながら、陶磁器の土の個性を生かした、明快で力強いデザインを多く展開しました。

この夏の展覧会では、作品資料約180点から日根野作三の生涯を辿ります。各地に残される資料を集めるべく、調査には約3年を費やしました。資料が一堂に会するまとないこの機会を、ぜひお見逃しなく。

(高曾由子/三重県立美術館学芸員)



日根野作三デザイン
《茶器セット》1950-60年代
安藤進唔商店蔵
すべて撮影:松原豊



日根野作三デザイン
《塩釉コケシ人形》1961年
常滑窯業試験場蔵



《セロリーセット》
1950-60年代、瀬栄合資会社四日市工場製
個人蔵

日根野作三展

会期:7月1日(土)～9月24日(日)
一般1,000(800)円、学生800(600)円、高校生以下無料
※()内は前売り及び20名以上の団体割引料金

三重県総合博物館(MieMu:みえむ)

津市一身田上津部田3060 TEL059-228-2283 FAX059-229-8310 開館時間:9:00～17:00(入場は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ホームページ:https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/



三重県出身・高畑勲監督の大回顧展開催!

三重県は豊かな自然と歴史・文化が育まれてきた土地ですが、ゆかりの深い映画監督がいることはご存じでしょうか? 小津安二郎や市川崑などが、実写映画の世界で独自の映像表現を確立してきました。三重県ゆかりの映画監督の活躍の場は、実写の世界だけに留まりません。今年の夏MieMuでは、アニメーション映画監督として多くの人々に親しまれる作品を世に送り出した高畑勲の歩みを紹介する特別展を開催します。

高畑は、1935年に7人兄弟の末っ子として現在の伊勢市に生まれ、幼い時期を津市で過ごしました。その後に移り住んだ岡山県で空襲を体験するなど、多感な子ども時代を激動の戦中・戦後の中で過ごしました。東京大学仏文科を卒業した後、1959年に東映動画(現・東映アニメーション)に入社し、アニメーション映画監督としての道を歩み始めます。

高畑の作品の基本的な考え方は、映画を観る人が主人公に感情移入する「思い入れ型」ではなく、客観的に他者(登場人物)への気持ちを呼び起こさせる「思いやり型」だと言われています。実際に高畑が手がけた作品を繰り返し観ると、自分自身が年を重ねたり新しいことを知ったりしたことで、作品への感じ方が変わることを実感できます。今回の特別展

では、作品構想が記された高畑自筆のノートや映画の設計図となる絵コンテなど、作品に散りばめられた「演出」の秘密が垣間見える資料に加え、アニメーション制作の裏側がわかる原画やセル画なども多数ご覧いただけます。

初監督作品で悪魔と闘う人々の団結という困難なテーマに挑戦した『太陽の王子 ホルスの大冒険』(1968年)から、日常生活を丹念に描き出した『アルプスの少女ハイジ』(1974年)や『赤毛のアン』(1979年)などのTV名作シリーズ、



日本を舞台にした『じゃりン子チエ』(1981年)、『火垂るの墓』(1988年)、『平成狸合戦ぽんぽこ』(1994年)、そして手描きの線を活かした水彩画風の描法でアニメーションの新たな境地を開拓した遺作『かくや姫の物語』(2013年)まで、会場では高畑が手がけた作品の軌跡を一挙に観ることができます。あなたのお気に入りの1本がどんな演出で作られているか、知れば映画がもっと面白くなるはず。アニメーション制作に人生を捧げた高畑の静かでありながら熱い気持ちが伝わる資料の数々を、ぜひMieMuをご覧ください!

(中村千恵/三重県総合博物館学芸員)

高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの

会期:7月8日(土)～9月18日(月・祝)
観覧料:一般1,600(1,400)円、学生1,000(800)円、小中高生500(300)円
※未就学児無料 ※()内は前売り及び20名以上の団体割引料金

8月18日(金)に三重県総合文化センターで高畑勲監督作品上映会を実施します。詳しくはMieMuのホームページをご覧ください。

三重県立図書館の書棚から。今号の美術館・博物館のテーマに関連する書籍をご紹介します

知られざる 萬古焼の世界
創意工夫から生まれたオリジナリティ
内田鋼一/著
誠文堂新光社 2015.11
751.1/ウ 116994757

日根野作三は四日市にもデザイン指導に訪れており、萬古焼を支えたキーパーソンとして取り上げられています。日根野に師事した陶芸家・稲垣太津男氏が語るエピソードからは、日根野の人となりをうかがうことができます。日根野は趣味として楽焼を制作しており、その作品(茶碗やぐい呑み)もいくつか掲載されています。

陶芸の美 至高の名陶を訪ねる
小林真理/著
芸術新聞社 2022.8
751.1/コ 117261602

第一章から第三章までの章立てのうち、中心となるのは現代の陶芸家を紹介する第二章です。日本全国産地の人間国宝から若手まで、総勢50名の陶芸家をその作品とともに紹介しています。一口に陶芸と言っても、産地と陶芸家の個性によって様々なのだと感じずにはられません。読むと陶芸の美しさに触れたいくなるでしょう。

アニメーション、折にふれて
高畑 勲/著
岩波書店 2013.12
778.7/タ 116827882

高畑勲が様々な場所で語ったインタビューや講演、対談などを集めたエッセイ集です。これまでの作品についてどのように考えているのか、現在のアニメーションに対する想い、過去に出会った人や作品など、様々なことについて書かれています。高畑勲という人物の人となりについて、その一端を知ることができ一冊です。

アニメ プロデューサーの仕事論
キネマ旬報映画総合研究所/編
キネマ旬報社 2011.10
778.7/ア 116682527

様々な作品の監督をされた高畑勲ですが「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」のプロデューサーだったことでも有名です。ところで、このプロデューサーというのはどういった仕事なのでしょう。実際にプロデューサーとして働く人の言葉を通して、仕事の内容や業界への想いを知ることができる、そんな本がこちらです。

主催事業ピックアップ 2023.7~9月

7/22[土] 多目的ホール

フレンテみえ男性講座 パートナーときく“更年期” ～CHANGE of LIFE のススメ～

13:30開講(12:45開場) 入場無料 事前申込制・先着順 定員:100名程度
対象:テーマに関心のある男性とその方のパートナー(ご夫婦、カップルなど)
講師:田村佳代(更年期トータルケアインストラクター/NPO法人ちえぶら事務局長)
申込方法:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口
託児:1歳6か月～小学校3年生程度(託児料/子ども1人につき500円)
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130

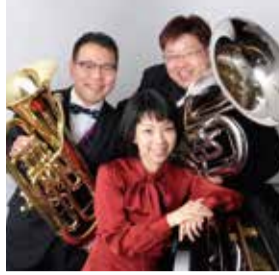
最近関心が高まりつつある「男性更年期」。特に男性は自身の身体の変化に気づいても無理を続けてしまう傾向にあります。ご自身のことだけでなくパートナー同士で更年期について楽しく学びながら、お互いを支えあえるパートナーシップを深めませんか。



7/23[日] 大ホール U30割 CLASSIC 復

三重県文化会館セレクションシリーズvol.14 ワーヘリ

外園祥一郎(ユーフォニアム)&次田心平(テューバ)&松本望(ピアノ)
14:00開演(13:30開場)
全席指定 2,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122



演奏予定曲 ハチャウトリアン/ 「ガイヌ組曲」より 他

世界遺産「ワールドヘリテージ」級のスーパーユニットが繰り広げる深く温かなハーモニーをお楽しみください。

7/30[日] 多目的ホール

まなびすとセミナー 楽楽シリーズ 楽楽歌舞伎塾 ～歌舞伎の楽しみ方～

14:00開講(13:30開場)
料金:1,000円 事前申込制・先着順
講師:葛西聖司(古典芸能解説者)
申込方法:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口
三重県生涯学習センター 059-233-1151



9月6日(水)に三重県文化会館中ホールで開催される松竹大歌舞伎の演目「玩辞楼十二曲の内屋主太夫(がんじろうじゅう)にきよくのうちつちやちから」「汐汲(しおくみ)」を中心に、古典芸能に精通した知識と経験を持つ葛西さんがわかりやすく楽しく解説してまいります。

8/19[土] 大ホール U30割 CLASSIC 復

指揮 横山奏 ヴァイオリン HIMARI 新日本フィルハーモニー交響楽団

16:00開演(15:30開場)
全席指定 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122



国内外42のコンクールで全て1位を獲得した天才少女HIMARIが登場します。

演奏予定曲
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26
ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
ラヴェル/ボレロ 他

7月～8月 レセプションルーム 6月14日(水)受付開始

みえアカデミックセミナー 2023公開セミナー

13:30開講(13:00開場)
入場無料 事前申込制・先着順
申込方法:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口
三重県生涯学習センター 059-233-1151



7月から8月にかけて、三重県内すべての高等教育機関が、各校の特色を活かした公開セミナーを開催します。また、開催期間中は、各校の学校案内やパンフレット類を一室に集めた「みえアカデミック展」を三重県生涯学習センター1階エントランスで開催します。



特設サイト

9/2[土] レセプションルーム

フォーカスみえ 女子マンガから学ぶ セルフラブ(ご自愛)のススメ

13:30開講 入場無料 事前申込制・先着順 定員:50名
対象:テーマに関心のある方
講師:トミヤマユキコ(ライター/マンガ研究者/東北芸術工科大学文学芸学科学科准教授)
申込方法:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口
託児:1歳6か月～小学校3年生程度(託児料/子ども1人につき500円)
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130



女子マンガというフィクションの中にいる彼女たちを通して、それぞれの中にある「ルッキズム」にフォーカスし、自分を大切に「セルフラブ(ご自愛)」な生き方について考えていきます。

9/23[土・祝] 中ホール 復

黒田卓也カルテット with TSUKAMOTO SISTERS

18:30開演(18:00開場)
全席指定 S席4,000円、B席3,000円
三重県文化会館チケットカウンター
059-233-1122



待望の第3弾!
世界が注目! 圧倒的な存在感を放つトランペッターのスペシャルジャズコンサートをお届けします。

9/24[日] レセプションルーム オンライン聴講可 7月20日(木)受付開始

人・まち・セミナー 人と動物の共生 —動物たちの幸せを守るために—

13:30開講(13:00開場) 入場無料 事前申込制・先着順
講師:竹川直樹(タケガワふれあい動物園園長)
申込方法:HP、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口
三重県生涯学習センター 059-233-1151



行き場のなかった動物たちの保護をきっかけに誕生した「タケガワふれあい動物園」。ここではヤギやウサギ、ヒツジなど様々な動物が暮らしています。竹川園長と一緒に、人と動物たちが共に幸せに暮らすために必要なことを考えてみませんか?

9月～2024.3月[各月第2木] 三重県総合文化センター内

パートナーとの関係で悩んでいる 女性のためのグループ

各回とも13:15開講 参加無料 定員:8名
対象:パートナーとの関係で辛い思いを抱えていたり、パートナーからの暴力に悩む女性
申込方法:HP、Eメール、電話、窓口
託児:0歳3か月～小学校3年生程度(託児料/子ども1人につき500円)
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」059-233-1130



自分のパートナーのふるまいに悩んでいる方、同じ気持ちを抱えている人同士が集まって話ませんか。安全な場所で自分に何が起きているのか学び、自分の気持ちを話したり、人の経験を聞いたりして、今できることを一緒に考えましょう。

主催 三重県総合文化センター主催事業 U30割 30歳以下は当日年齢証明提示で割引 学生向けサービス 25歳未満の学生に限り当日の空席を1,000円で販売します。 終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 ※往路バスの運行は終了しました。
託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3か月から就学前まで) 公演2週間前までにお申し込み下さい。 そうぶんバスツアー 東紀州地域からの往復バスツアー 事前申込制・先着順 お問い合わせ TEL059-233-1105
クラシック後半割 休憩後からのご入場で定価の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。) 英字プログラム有 点字プログラム有 手話通訳有
※赤外線補聴システムをご利用いただける催し物もございます。詳細は施設利用サービスセンターまでお問い合わせください。(フリーダイヤル0120-319-489)

掲載している催し物は5月30日時点の内容です。諸般の事情により、掲載している催し物に変更(中止・延期)になる場合があります。詳細は主催者へお問い合わせください。

三重県総合文化センター イベント 検索

事業協賛会員 公益財団法人岡田文化財団 百五銀行 三十三銀行 三重県協同組合連絡協議会(JA・漁協・労福協・中小企業団体中央会) NISHO HIGHWAY

一般協賛会員

三重県舞台管理事業協同組合 カヤパCS株式会社 住友電装 三重テレビ放送 三重電業株式会社 千カザワ 宮崎本店 中野電力パワーグリッド 昭永工業株式会社 岡三証券株式会社

三重交通株式会社 日本トランスシティ株式会社 パナソニックコネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー 中日本社 東芝ライテック株式会社 三重県信用金庫協会 三重県信用保証協会 鈴鹿医療科学大学

東海旅客鉄道 東海ダイヤビルサービス 井村屋グループ株式会社 伊藤印刷株式会社 モクモク手づくりファーム 朝日屋 岩間造園株式会社 株式会社東洋軒 学校法人 聖学院 三重県職員信用組合 ホテルザ・グランコート津西

アスカワ 制服 レディオキューブFM三重 株式会社光機械製作所 ZTV 医療法人誠仁会 塩川病院 有限会社江藤電設 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社 コソド鑑定調査株式会社

生活協同組合 コープみえ 放送大学三重学習センター ミヤムラ 赤塚植物園グループ 近畿ビルサービス株式会社 東報電産株式会社 ヤマハサウンドシステム株式会社

社会福祉法人 洗心福祉会 医療法人 津 健康クリニック 緑豊かな暮らしと共に! (株) 山本造園 東京ライフギャランティー株式会社 株式会社エスバ DAISO アースダンボール

～地域とともに! 協同組合は三重の元気を応援します!

国際協同組合デー記念 ワンコインコンサート vol.131

7月26日(水) 11:30開演(10:45開場) 三重県文化会館 大ホール
全席自由(チケットレス) 500円 南米ペルーラテンfolkloreレワイキス

国際協同組合デーとは?
世界の協同組合に携わる人々が、平和でよりよい社会を築くため、事業や活動の前進を願う日です。毎年7月の第1土曜日を記念日とし、1922年に国際協同組合同盟(ICA)によって定められました。以来、毎年7月には、世界各地でさまざまな記念行事が行われています。

協賛: 三重県協同組合連絡協議会
[JAグループ三重 三重県漁業協同組合連合会 三重県生活協同組合連合会 一般社団法人三重県労働者福祉協議会 三重県中小企業団体中央会]

アンケートに答えると
そうぶん
ブレンドコーヒー
かるみーパッケージが
抽選で10名様に当たる!

応募締切:8月31日(木)

7つの質問に
答えてちょーだい

ハガキでも応募できる「スペシャルアンケート」は
144号(12月発行)で実施予定。楽しみにしてちょ!

- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分
鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※名古屋から約1時間、大阪から約1時間40分
※無料駐車場(約1,400台)があります。催しが多く開催される日は大変混み合いますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。
- 開館時間のご案内 9:00～19:00(貸館等で使用する場合を除く)
※チケットカウンターは10:00～17:00、アートショップMikke(みつけ)、レストラン、売店、ステップアップカフェの営業時間は、ホームページ等でご確認ください。

次号予告 9月発行 「Mnews」vol.143 | 東京バレー団、コロナ禍のOiBokkeShi



エムニュースは次の場所で入手可能です。三重県総合文化センター館内、三重県庁・市町役場・市町図書館、三重県内公共施設、チケット発売所、三重県内道の駅、三重県内病院・歯科医院、三重県総合文化センター周辺のお店、ショッピングセンターなど。また、三重県文化会館シアターメイツ会員には無料で送付しております。詳しくはシアターメイツ事務局まで(059-233-1116) 上記以外にも、多数の企業・団体・公共施設の皆様に配布のご協力をいただいております。

- 休館日のご案内 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、年末年始
県立図書館は休館日が異なりますのでご注意ください。
県立図書館 TEL059-233-1180 <https://www.library.pref.mie.lg.jp/>
- そうぶん・県立図書館休館日カレンダー

7月							8月							9月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	1	2	3	4	5	6						1	2	3
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
31																				

■…そうぶん・図書館とも休館 □…図書館のみ休館

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
TEL059-233-1105 FAX059-233-1106

三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレンテみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。